

安倍圭子マリンバ リサイタル

ピアノ：斎木隆

1部

「恋は魔術師」より 火祭りの踊り……………ファリヤ
安倍圭子・斎木隆編曲

六本撥による五木の幻想……………安倍圭子

祭りの太鼓……………安倍圭子

ロンドンデリー……………アイルランド民謡
安倍圭子編曲

プリズム・ラプソディー〜マリンバとピアノのための〜…安倍圭子

2部

ジ・エンターティナー……………S.ジョブリン
斎木隆編曲

メープル・リーフ・ラグ……………S.ジョブリン
安倍圭子編曲

ジャマイカン・ルンバ……………A.ベンジャミン
安倍圭子編曲

ドナ・ドナ……………S.セクンダ
安倍圭子編曲

剣の舞……………ハチャトリアン
安倍圭子・斎木隆編曲

ハンガリー狂詩曲第2番……………リスト
安倍圭子編曲

春

1998 四季コンサート ふれあい音楽会

1998年4月11日(土) 6:45PM

会場：浜松市教育文化会館

主催：浜松音楽友の会

プロフィール

安倍圭子(マリンバ)

国際的マリンバ演奏家。演奏活動は世界40ヶ国に及ぶ。マリンバの新たな奏法を開拓しながら音楽表現の幅を拡げ、数多くの作曲家への委嘱活動を実践すると同時に、安倍自身のオリジナル作品も生み出すことにより、マリンバを独奏楽器として確立させた。

演奏の場は幅広く、ソリストとしてオーケストラや室内楽、打楽器合奏団やジャズ奏者との共演等、ジャンルを越えたユニークな活動が注目されている。強烈な集中力を持った自由自在な表現力は、芸術性の高い独自のマリンバの世界を築き上げ、音楽史上に残るアーティストとして世界各地で絶賛され、確固たる評価を得ている。

1968年より文化庁芸術祭賞6回受賞。1993年、国際打楽器芸術協会(PAS)より唯一の日本人としてホール・オブ・フェーム栄誉賞受賞。1997年、日本吹奏楽アカデミー賞受賞(演奏部門)。桐朋学園大学教授、シュツットガルト音楽大学客員教授、相愛大学講師。

斎木隆(ピアノ)

桐朋学園大学でピアノを森安芳樹、井口基成、作曲を戸田邦雄、室内楽を斎藤秀雄の各氏に師事。1975年、ピアノ科を主席で卒業、宮中桃華楽堂で御前演奏を行う。現在、後進の指導にあたる一方、リサイタル、伴奏等各方面で活躍中。桐朋学園大学助教授。



安倍圭子

マリンバリサイタル

KEIKO ABE
MARIMBA RECITAL

●「恋は魔術師」より 火祭りの踊り／ファリャ

スペイン南部のアンダルシア地方に伝わる民話を題としたバレエ「恋は魔術師」の中の一曲で、悪魔をはらうための荒々しく激しい踊りの音楽が、いかにも情熱の国スペインの民族的な気質を表わしている。マリンバとピアノを一体化した編曲が効果的である。

●六本撥による五木の幻想／安倍圭子

“五木の子守歌”のテーマが最初は低音部に断片的に現れるが中間部では六声部のコーラルで豊かに奏され、六本撥によるマリンバ・サウンドの美しさが発揮される。この柔らかな六声部のトレモロ奏法に対して、密集和音の強いアクセントと緊張感のある“間”の対比が効果的な空間を創り、曲の印象を強いものになっている。

●祭りの太鼓／安倍圭子

日本太鼓を打つ時に受け継がれてきた伝統的な“形”と“祭り”の雰囲気、特殊マレット(ばち)を使用してマリンバに取り入れた作品。曲は三部形式をとり、五音階の上に日本太鼓の特徴あるリズム・パターンとメロディーが反復されながら発展していく。中間部では、ルバートをともなったアルペジオの中にメロディーが浮き沈みする。テーマは再び、特殊マレットの幅のある音色と、マレットの柄の手許についた堅いゴム球が創り出すリズム・パターンの上に再現される。

●ロンドンデリー／アイルランド民謡

アイルランド北部のデリー地方の民謡。17世紀初めにロンドン人がこの地に来てから、デリーの前にロンドンをつけて、ロンドンデリーと呼ぶようになった。この美しい民謡をマリンバのトレモロ奏法を使って編曲し、豊かなマリンバのハーモニーが聴く人の心を素朴にとらえる。

●プリズム・ラブソディ ～マリンバとピアノのための～／安倍圭子

個性的な作曲家独自のマリンバの響きがオーケストラのハーモニーと一体化し、自由なスタイルで表現されているマリンバ協奏曲をもとに作曲された。カデンツァを境に二つの要素で構成されており、前半では二種類のテーマの断片が拡大され、ひとつのメロディーを構築していく面白さを、後半にはマリンバの特性がよく生かされている華麗なマリンバの世界を堪能できる。

●ラグタイムより「ジ・エンターティナー」と「メープル・リーフ・ラグ」／S.ジョプリン

ラグタイムは1915年以前のジャズと呼ばれる以前のジャズ音楽をいう。この時代を代表する作曲家スコット・ジョプリンの代表的な作品2曲がメドレー風に編曲されており、その暖かくて楽しいメロディーはアメリカの古き良き時代の白黒映画を思い起こさせる。

●ジャマイカン・ルンバ／A.ベンジャミン

原曲はイギリスの作曲家ベンジャミンのオーケストラ曲で、陽気で少々諧謔味のある作風が特徴である。ジャマイカンは西インド諸島にあるジャマイカ島の踊りを表わしたもので、スペイン的であるよりむしろアフリカ的色彩が濃い作品である。

●ドナ・ドナ／S.セクンダ

ジョーン・バエズが歌って、反戦歌として支持を得た、フォークソング的な作品である。マリンバの無伴奏曲として効果的な表現方法を駆使し、あたかもマリンバ独自の世界を持つオリジナル曲かと錯覚するような完成度の高い編曲となっている。

●剣の舞／ハチャトリアン

ハチャトリアンの舞踏組曲「ガイース」の中の一曲で、剣を持って踊るクルド族の民族的色彩の濃い情熱的な曲。シロフォンのマレットを使用することによって、マリンバの持つ鋭さが生かされ、他の曲には見られないマリンバの一面をうかがうことができる。

●ハンガリー狂詩曲第2番／リスト

ハンガリー音楽特有の切分法、即興的なカデンツァを含み、ラッサンと呼ばれる荘重でゆるやかな部分と、フリスカと呼ばれる激しい部分からなっている。ピアノを伴奏として扱わず、原曲の持つピアノの魅力をそのまま生かし、そのうえにマリンバの可能性を加え、2台の楽器を1台の楽器のように扱って編曲してある。この方法により原曲は、より幅広い表現を生み出す結果となった。